

1. 令和3年度事業内容等

No.	16	事業名	子育て支援に関する情報発信	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	紙及び電子媒体による乳幼児向けのイベントなど最新の子育て支援情報入手しやすい環境を整えることで、在宅の子育て家庭等の孤立化を防ぐ。				
課題	子育て家庭にとって必要な情報のニーズの変化を把握する必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 子育て情報チラシ等の作成及び提供 チラシやサポートマップ、カレンダー等を作成し、子育て関係機関等に提供する。 ウェブサイトを活用した子育て情報の発信 区独自のホームページ子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の運用を行う。 区役所の子育て情報コーナーにおけるチラシ等の配架 子ども連れの来庁者に子育て情報を提供するキッズコーナー「すまいる」に配架する。 保育案内人の出張相談 感染対策 子育てサロン、地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等の利用を希望する保護者に対する出張相談を実施する。 新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで実施するが、対面が難しい場合は、オンラインでの実施とする。 				
計画目標	保育案内人の出張相談 24件				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課題	子育て家庭にとって必要な情報のニーズの変化を把握する必要がある。
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> 子育て情報チラシ等の作成及び提供 コロナ禍で一時休止していたカレンダーは7月より作成を再開し、4月現在・10月現在のサポートマップを年2回作成した。 ウェブサイトを活用した子育て情報の発信 区内の子育て情報を見やすいように掲載し、毎月内容の更新を行った。 区役所の子育て情報コーナーにおけるチラシ等の配架 子育てサロンや子育て支援拠点の情報などについて毎月配架を行った。 保育案内人の出張相談 子育てサロンに8回、子育て支援拠点に13回出張相談を行った。
計画目標	子育て支援情報サイト「なかがわっ子」における掲載情報のニーズ調査の実施
実績	子育て支援情報サイト「なかがわっ子」における掲載情報のニーズ調査 1回
総括	子育て情報チラシ等の作成及び提供と保育案内人の出張相談は、今後はコロナ禍でも実施が可能なよう、事業の見直しや感染対策の準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	17	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課		関係部署(所)	—	
趣旨	面接や家庭訪問をとおして育児や家庭に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。				
課題	一人ひとりのニーズに応じた支援ができるよう、関係機関とも連携し、適切なサービスにつなげていく必要がある。				
事業内容	<p>1 妊婦面接の実施 感染対策 保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施し、安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援する。</p> <p>2 新生児・乳児訪問の実施 感染対策 出生報告を提出された新生児・乳児と産婦、その家族を対象に、3(4)か月児健診までに保健師・助産師が家庭訪問で相談にのることにより、育児不安の軽減を図り安心して育児に取り組めるよう支援する。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98% 				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課題	一人ひとりのニーズに応じた支援ができるよう、関係機関とも連携し、適切なサービスにつなげていく必要がある。
実施結果	<p>1 妊婦面接の実施 安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援するために、保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施した。</p> <p>2 新生児・乳児訪問の実施 産婦やその家族が育児不安の軽減をはかり安心して育児に取り組めるよう、保健師・助産師が、出生報告を提出された家庭に3(4)か月児健診までの間に家庭訪問を実施した。</p>
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 96%
総括	妊婦面接は100%できており、妊娠期からの支援をすることができた。新生児・乳児訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期里帰りする方や訪問拒否をされる方もみられた。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した訪問の実施と支援方法の検討をしつつ、実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	18	事業名	乳幼児健診時に本に親しむ機会の提供	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	民生子ども課、中川図書館、富田図書館、社会福祉協議会		
趣旨	子どもと保護者が絵本を介して楽しいひとときを持つきっかけとなるように、絵本の紹介をし、子どもの健やかな成長を支援する。				
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は図書館が行っている絵本の読み聞かせを実施しないことになったため、読み聞かせ以外の方法で、絵本に興味を持ってもらうようにする必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3(4)か月児健診時 感染対策 健診後に保健センターのスペースで図書館職員とボランティアが、絵本の紹介をし、絵本をプレゼントする「中川区ブックスタート事業」を行い、親子のふれあいや子どもたちが本に親しむ機会を提供する。 				
計画目標	保健センター19回 分室16回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課題	「ブックスタート事業」は財源に限りがあるため、令和3年度以降にむけて持続可能な方法を検討する必要がある。
実施結果	<p>1 3(4)か月児健診(4月16日から5月29日までは健診中止) 4月、6月から10月は実施した。 11月から3月は保健センターで健診を実施していないため、未実施。</p> <p>2 1歳6か月児健診時(4月16日から6月30日までは健診中止) 4月、10月から3月は実施した。 7月から9月は中止した。</p> <p>「中川区ブックスタート事業」については、令和3年度は今まで通りの方法で実施することになった。令和4年度以降については別の持続可能な方法を検討し、準備することになった。</p>
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・3(4)か月児健診時 保健センター20回 分室17回 ・1歳6か月児健診時 保健センター16回 分室12回
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・3(4)か月児健診時 保健センター11回 分室9回 ・1歳6か月児健診時 保健センター10回 分室8回
総括	健診の中止に伴い、回数は計画目標の半分ほどに留まったが、感染対策をとり実施した。令和3年度も、感染対策をとりできる限り実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	19	事業名	子育て支援講座の開催	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	中川児童館		
趣旨	子育て支援講座を開催し、親自身が子どもとのかかわり方などについて学ぶことにより、子育てに関する不安を軽減させるとともに、支援が必要な家庭を把握し、地域の子育て支援につなげていく。				
課題	より多くの方に参加していただくため、企画・広報を充実させる必要がある。				
事業内容	<p>1 スターペアレンティング講座の開催 感染対策 「中川子育てネットワーク※」が子ども・子育て支援センターとの共催事業として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶ講座を開催する。</p> <p>2 フレッシュママの子育て入門の実施 感染対策 0歳児の特性や生活リズムを学ぶとともに、ふれあいリトミックや、ベビーマッサージによる親子のふれあいを行うことにより、第1子を抱える母親が子どもに対する愛情を再確認するきっかけを提供する。</p> <p>いずれも新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで開催するが、対面が難しい場合は、オンラインでの開催とする。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 6回 				

※中川子育てネットワーク

区役所を中心に区内の関係機関や団体が、地域における子育て支援の促進を目的として相互に連携・協力し、講座やイベント、情報発信や支援者の育成などを行う。

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆)

課題	より多くの方に参加していただくため、企画・広報を充実させる必要がある。				
実施結果	<p>1 スターペアレンティング講座の開催 2月2日、9日、16日にオンラインにて開催した。</p> <p>2 フレッシュママの子育て入門の実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スターペアレンティング講座の開催 5回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 6回 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スターペアレンティング講座の開催 3回 ・フレッシュママの子育て入門の実施 0回 				
総括	フレッシュママの子育て入門は、対面での講座が原則だが、状況によってはオンラインでの開催を行う必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	20	事業名	若年の親や発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署(所)	—	
趣旨		若年の親や発達に遅れのある子どもの親が、教室やグループ活動をとおして、正しい知識を持ち、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。			
課題		若年の親対象の教室の参加者が少ないため、参加勧奨や内容等の工夫が必要である。 また、発達に遅れのある子どもをもつ親のグループは、中心となる親に継続的に参加していただくように努める必要がある。			
事業内容		1 ママともクラブ 感染対策 [対象] 10代から22歳までの就園前の子どもの母および妊婦 [内容] 親子遊び、子育ての話、子育て相談など 2 パンダグループ 感染対策 [対象] 発達に遅れのある子どもの親 [内容] 交流会、勉強会、講演会などを、数人のリーダーママを中心に実施			
計画目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ママともクラブの開催 2回 ・パンダグループの開催 7回 			

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆)

課題	若年の親対象の教室の参加者が少ないため、参加勧奨の工夫が必要である。 また、発達に遅れのある子どもをもつ親のグループは、中心となる親に継続的に参加していただくように努める必要がある。
実施結果	1 ママともクラブ 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、個別支援で対応をした。 2 パンダグループ 発達に遅れのある子どもの親を対象に、リーダーママを中心として交流会を実施した。
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ママともクラブの開催 4回 ・パンダグループの開催 9回
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ママともクラブの開催 0回(代替あり) ・パンダグループの開催 5回
総括	ママともクラブにおいては令和2年度は開催できなかったため、感染対策をとり、子どもへの関り方を知ることを中心とした内容で開催していきたい。 パンダグループにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止していたが、7月から感染対策をとり交流会のみ実施した。 令和3年度は感染対策をとり、講演会等も実施していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	21	事業名	子育て家庭向け交流イベントの開催	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	区内数か所においてイベントを開催し、子育て家庭同士の交流を深めたり、子育てサロンや地域子育て支援拠点などによる支援につなげることにより、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。				
課題	イベントへの参加をきっかけに地域の子育て支援へと円滑につないでいくための方策を検討する必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭向け交流イベントの開催 感染対策 区内の子育て関係機関や活動団体で構成する「中川子育てネットワーク」主催による子育て家庭向け交流イベントを区域ごとに実施する。 ①区内東部（露橋スポーツセンター） あそびの出前①「親子でぎったんぱっこん」（6月）の開催 ②区内中央（区役所講堂） なかがわキッズフェア（10月）の開催 ③区内西部（富田北プール） あそびの出前②「中川子育てハッピーランド」（1月）の開催 				
計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：—)

課題	イベントへの参加をきっかけに地域の子育て支援へと円滑につないでいくための方策を検討する必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3回
実績	子育て家庭向け交流イベントの開催 0回
総括	令和2年度は大人数が集まるイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が難しい状況であった。今後もコロナ禍での、感染対策や開催方法などについて検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	22	事業名	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	子育て支援の担い手となるボランティア「なかがわっ子サポーター」を養成し、子育てサロンや子育て家庭の交流イベント等の活動の場を提供することで、地域での継続的な子育て支援活動を促進する。				
課題	サポーターの質の向上及び活動内容の魅力向上とともに、地域の子育て支援の担い手の活動場所としての受け皿を確保する必要がある。				
事業内容	<p>1 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 感染対策 中川区独自の取り組みとして、地域での子育て支援活動の担い手を養成するための講座を開催する。</p> <p>2 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 感染対策 「なかがわっ子サポーター」としてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付けるための講座を開催する。</p> <p>3 なかがわっ子サポーターの活動の場の確保・活動支援 感染対策 「なかがわっ子サポーター」が、地域で子育て支援活動を行うための場の確保やあっせんを行う。</p> <p>4 区内3高校との連携による「なかがわっ子高校生サポーター」事業の実施 感染対策 高校生の段階から乳幼児やその家庭との関わり方を学ぶことにより、若年層による地域での子育て支援の機運を醸成する。</p> <p>いずれの事業とも、新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで開催するが、対面が難しい場合は、オンラインでの開催とする。</p>				
計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 243件				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆)

課題	サポーターの質の向上及び活動内容の魅力向上とともに、地域の子育て支援の担い手の活動場所としての受け皿を確保する必要がある。				
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・なかがわっ子サポーター養成講座、なかがわっ子サポーターステップアップ講座、なかがわっ子高校生サポーター事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 ・なかがわっ子サポーターについては、子育てサロン、子育てイベントの中止が相次ぐ中、一定の活動ができた。 				
計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 216件				
実績	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 16件				
総括	今後はコロナ禍でも開催が可能なよう、事業の見直しや感染対策の準備を進める必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	23	事業名	地域の子育てサロンの運営支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	保健センター保健予防課 中島保育園(エリア支援保育所)		
趣 旨	区役所や保健センター、エリア支援保育所等が協働し、保育士や保健師、保育案内人の派遣、大型絵本や遊具の貸し出しなどにより、地域の子育てサロンの運営を支援し、子育てサロン事業の活性化を図る。				
課 題	最も身近な存在である地域の子育てサロンの魅力をより向上させる必要がある。				
事業内容	<p>1 専門職の派遣 感染対策 エリア支援保育所等の保育士や保健センターの保健師、保育案内人の専門職を派遣することにより、各種講座の開催や子育てに係る相談を実施する。新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで実施するが、対面が難しい場合はオンラインでの実施とする。</p> <p>2 子育て支援物品の貸し出し 感染対策 子育てサロン事業の活性化を図るため、大型絵本をはじめとする子育て支援物品の貸し出しを実施する。</p>				
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230件				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課 題	最も身近な存在である地域の子育てサロンの魅力をより向上させる必要がある。				
実施結果	<p>1 専門職等の派遣 派遣回数 ・保育士 子育てサロン：29回 ・保健師 27回 ・保育案内人：子育てサロン：8回 子育て支援拠点：13回</p> <p>2 子育て支援物品の貸し出し 貸し出し件数：区役所44件</p> <p>5月までは全学区で子育てサロンを中止した。6月以降の開催は子育てサロンごとの判断とした。</p>				
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230件				
実 績	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 121件				
総 括	令和2年度は学区の子育てサロンも学区によって開催状況が異なる状況で、例年よりも開催日数が少ない状況であった。 今後はコロナ禍でも開催が可能なよう、事業の見直しや感染対策の準備を進める必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	24	事業名	児童虐待防止の推進・啓発	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課 西部児童相談所		
趣 旨	児童虐待の発生予防や早期発見などの適切な対応を図るため、「なごやこどもサポート中川区代表者会議」をはじめとする連絡会議や、区独自の「児童虐待情報データベースシステム」などを活用し、関係機関による情報 共有等の連携を強化する。				
課 題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、引き続き児童虐待が増加することが懸念されるため、より一層の関係機関連携が必要となる。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 要保護児童対策地域協議会の開催 感染対策 <ul style="list-style-type: none"> 関係機関の代表者が構成員となっている「なごやこどもサポート中川区代表者会議」を年1回開催する。 要保護児童等の情報共有及び連携支援を行うため、「中川区実務者会議」を月1回開催する。 個別ケースを検討するため「サポートチーム会議」を随時開催する。 児童虐待情報データベースシステムの活用 関係機関の情報共有・連携支援の強化による各機関の対応状況を見据えた支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を行う。 児童虐待防止の広報・啓発活動 感染対策 「名古屋市児童を虐待から守る条例」に基づく5月と11月の児童虐待防止推進月間において、オレンジリボンキャンペーン活動を実施する。 				
計画目標	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課 題	児童虐待情報データベースシステムの安定的な運用及び全区展開
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> 要保護児童対策地域協議会の開催 実務者会議、サポートチーム会議は時間を短くするなど感染対策を取った上で実施した。代表者会議は書面開催とした。 児童虐待情報データベースシステムの活用 安定かつ効率的なシステム運用を図るため、機器更新契約を実施した。 児童虐待防止の広報・啓発活動 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年11月に実施していた児童虐待防止映画鑑賞会を中止し、啓発グッズの配布も1日のみに限定した。
計画目標	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間
実 績	オレンジリボンキャンペーン活動の実施 2か月間
総 括	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オレンジリボンキャンペーン活動はオンラインを活用して実施するなど、工夫が必要である。

1. 令和3年度事業内容等

No.	25	事業名	キッズコーナー「すまいる」	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣旨	子どもが遊べるコーナーや子育て情報コーナーを設置し、子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースを提供する。				
課題	来庁者にとってキッズコーナーをより利用しやすくするための環境づくりをする必要がある。				
事業内容	<p>1 なかがわっ子サポーターによる子育て情報案内(9~12月) 感染対策月に2~3回、試験的に実施。民生子ども係窓口で手続きの待ち時間に親子への情報提供やキッズコーナーの消毒を行う。</p> <p>2 子育て支援情報チラシ等の配架 子育てサロンや地域子育て支援拠点などの情報チラシを配架し、区内の子育て支援情報を入手しやすい環境をつくる。</p>				
計画目標	キッズコーナーでのなかがわっ子サポーター活動人数 24人				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況:☆☆)

課題	来庁者にとってキッズコーナーをより利用しやすくするための環境づくりをする必要がある。
実施結果	<p>1 子どもが安心して遊ぶことができるコーナーの設置 キッズコーナーは感染対策のため4月から閉鎖したが、11月からおもちゃや絵本の利用を制限し再開した。キッズコーナー前に椅子を設置し、順番を待っている保護者や子どもが座るスペースとした。</p> <p>2 子育て支援情報チラシ等の配架 配架コーナーの前にアルコール消毒液を置き、情報チラシの配架を行った</p> <p>3 来庁者向け窓口案内表示の設置 他の階に目的がある来庁者もキッズコーナーを利用しやすいよう、窓口案内表示モニターをキッズコーナーに設置した。</p>
計画目標	来庁者向けの案内表示の見直しの実施
実績	来庁者向けの案内表示の見直しを実施
総括	今後も感染対策をした上で、情報提供の場をいかに有効活用できるかを考えていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	26	事業名	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	青少年育成区民大会は、区内の青少年が各校の取り組みについて趣向を凝らして発表し、情報交換することで、青少年の健全育成・非行防止を促進する。 青少年音楽のつどいは、区内の青少年が自分たちで協力し合いながら発表会を運営したり、チラシデザインの製作などを行ったりすることで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。				
課題	青少年育成区民大会は、青少年が活発に情報交換・意見交換できる場とする必要がある。 青少年音楽のつどいは、青少年が新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら自主運営ができる開催方法にするとともに、音楽にこだわらず参加団体が参加したくなるように企画の充実を図る必要がある。				
事業内容	・青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和4年1～2月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] ・フレンドシップ協定締結校を中心とした青少年による問題に対する取り組みの発表を通じた情報交換 ・フレンドシップ協定締結校生による音楽活動等の発表と運営 ・参加者は事前予約制とし、当日記入したチェックシートを会場に持参する等の新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をした上で開催する。				
計画目標	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催 1回				

●令和2年度の事業「青少年育成区民大会の開催」及び「青少年音楽のつどいの開催」を統合。

2. 令和2年度の実施結果（青少年育成区民大会の開催）（進ちよく状況：☆）

課題	活発な情報交換・意見交換の場とするために、多くの人に参加、発表していただく必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。 代替として中川区ウェブサイトで特設ページを制作し、高校生が作成したポスター画像および当日の発表予定内容等を掲載した。
計画目標	青少年育成区民大会の開催 1回
実績	青少年育成区民大会の開催 0回（代替あり）
総括	急激な新型コロナウイルス感染症拡大にも対応可能な開催方法とするため、規模・運営方法・対応策について運営の中心となっているフレンドシップ協定締結校と協議していく必要がある。

2. 令和2年度の実施結果（青少年音楽のつどいの開催）（進ちよく状況：☆）

課 題	自主性を育成するためにも多くの学校に参加してほしいが、参加団体数が減少してきているため、参加団体を増やすために企画の充実を図る必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。 代替として中川区ウェブサイトで特設ページを制作し、参加予定校名を掲載するとともに、一部の学校から演奏映像の提供を受け、まるはっちゅ〜ぶで発表した。
計画目標	青少年音楽のつどいの開催 1回
実 績	青少年音楽のつどいの開催 0回（代替あり）
総 括	急激な新型コロナウイルス感染症拡大にも対応可能な開催方法とするため、規模・運営方法・対応策について運営の中心となっているフレンドシップ協定締結校と協議していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	27	事業名	子ども会活動への支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	—		
趣 旨	子どもたちが異年齢間で交流し、様々な体験を通じて社会生活を身につけられる子ども会活動を促進するために、子ども会活動への支援を行うとともに、区子ども会連合会と連携して子ども会行事の活性化を図る。				
課 題	子どもの減少や余暇の過ごし方の変化、育成者不足による負担増などで、子ども会への加入者の減少や、地域子ども会の解散が進んでいるため、子ども会活動の魅力地域へ発信し、地域の協力を含めた活動の支援が必要である。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営を支援する。 3 区子ども会連合会のホームページを活用し、活動内容などの紹介を行い、広く区民の皆さまに子ども会の活動を周知する。 4 地域役員に向けて、子ども会の魅力や意義などを周知し、新たに子ども会の設立や活動の活性化について情報発信を行う。 				
計画目標	地域に向けた新たな子ども会の設立に向けた情報発信の実施				

2. 令和2年度の実施結果 (進ちよく状況：☆☆)

課 題	子どもの減少や余暇の過ごし方の変化、育成者不足による負担増などで、子ども会への加入者の減少や、地域子ども会の解散が進んでいる。
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 運営助成金の交付を行った。 2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区子ども会連合会主催の行事は中止した。 3 区子ども会連合会ホームページを活用し情報発信を行った。 あわせて、令和2年5月1日に中川区ボランティアグループと協力して、自宅で出来る工作「モールアート」の動画を発信した。 4 子ども会を設立していく手法を関係機関と話し合い、中川区子ども会連合会の執行部会において協議を行った。 令和2年9月4日・令和2年10月9日 計2回
計画目標	子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催
実 績	子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催 2回
総 括	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議の一部を中止し、子ども会設立に向けた関係機関の協議の開催について、十分に話し合いを行う事が出来なかった。</p> <p>また、地域の子ども会では事業の中断により子ども会離れが心配されるため、魅力や意義を情報発信し活動の活性化を促す必要がある。</p>

1. 令和3年度事業内容等

No.	28	事業名	思春期セミナーの実施	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	—		
趣旨	講話や体験をとおして、いのちの大切さを学び、性について考え、行動する力を身につけるセミナーを、区内の小学校、中学校と連携して行う。				
課題	ほとんどの小学校でセミナー(学校独自開催も含む)を実施しているが、中学校は半数程度である。系統立てて学習するために、中学校での実施校を増やしていく必要がある。				
事業内容	<p>1 小学校におけるセミナーの開催 感染対策 主に4年生を対象にいのちの大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、妊婦体験、生まれる体験</p> <p>2 中学校におけるセミナーの開催 感染対策 性に関する知識を学ぶ講話を中心に実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇、水の交換実験</p> <p>3 中学校(特別支援級)におけるセミナーの開催 感染対策 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、プライベートゾーン、人との距離感 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験</p>				
計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23校 中学校(特別支援級含む) 8校				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況:☆☆)

課題	ほとんどの小学校でセミナー(学校独自開催も含む)を実施しているが、中学校は半数程度である。系統立てて学習するために、中学校での実施校を増やしていく必要がある。				
実施結果	<p>1 小学校におけるセミナーの開催 主に4年生を対象に命の大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験</p> <p>2 中学校におけるセミナーの開催 性に関する知識を講話中心として実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇</p> <p>3 中学校(特別支援級)におけるセミナーの開催 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化プライベートゾーン、人との距離感 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験</p>				
計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23回 中学校(特別支援級含む) 8回				
実績	思春期セミナーの実施 小学校 18回 中学校(特別支援級含む) 8回				
総括	新型コロナウイルス感染症の影響による休校で、開催時期の変更や中止があった。令和3年度も感染対策に配慮しつつ、学校ときめ細かな検討の上、実施していく必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	29	事業名	高校生向け思春期保健事業	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課		関係部署(所)	中川児童館	
趣旨	人工妊娠中絶は母体の心身への影響が懸念されている。望まない妊娠や10代の妊娠中絶を防止するために、思春期の時期から「いのちの大切さと正しい性知識」を普及することが必要である。 そのため、区内の高校と連携し若者が望まない妊娠や性感染症を自ら回避する力を身に着けるため、高校生向けの事業を開催する。				
課題	継続して実施できるように内容等を調整していく必要がある。				
事業内容	いのちの大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験・交流を実施する。 感染対策 [講話内容] いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [体験・交流] 赤ちゃん人形の抱っこ体験、乳幼児とその親との交流 [その他] リフレットおよび相談先カードの配布				
計画目標	高校における思春期セミナーの開催 1校				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課題	継続して実施できるように内容等を調整していく必要がある。				
実施結果	いのちの大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験を実施した。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とところの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [体験] 赤ちゃん人形の抱っこ体験 [その他] リフレットおよび相談先カードの配布				
計画目標	高校における思春期セミナーの開催 1回				
実績	高校における思春期セミナーの開催 1回				
総括	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、一部内容の変更をして実施した。令和3年度も感染対策に配慮し、事業の趣旨を踏まえ、学校のニーズに沿った内容の検討をしつつ継続していく必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	30	事業名	生活保護世帯等の中学生の学習支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	支所区民福祉課		
趣旨	生活保護世帯・ひとり親家庭の中学生に対し、学習会への参加を促し、学力向上、高校進学をめざす。				
課題	学習支援事業に対する中学生本人の意欲を高めるとともに親の理解を深める必要がある。				
事業内容	5月に生活保護世帯・ひとり親家庭の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業の参加についてのパンフレットを送付して、参加を促すとともに、特に参加が必要と判断される子どもに対しては参加するよう個別に地区担当員から指導する。 学習支援は、子どもの学習指導をするだけでなく、子どもの居場所づくりの役割も果たす。				
計画目標	学習支援への参加率 30% (継続参加率 90%)				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課題	学習支援事業に対する中学生本人の意欲を高めるとともに親の理解を深める必要がある。
実施結果	総参加者数は平成31年度の37人から令和2年度は41人とわずかながら増加した。しかし、継続率は平成31年度の91.9%から令和2年度は80.5%と大きく減少した。新型コロナウイルスの感染をおそれ、事業への参加を見合わせる人が多かったのではないかと思料される。
計画目標	学習支援への参加率 30% (継続参加率 90%)
実績	学習支援への参加率 27.2% (継続参加率 80.5%)
総括	参加者数は少ないながらも、参加した児童の中には意欲的に勉学にいそしみ志望校に合格するなどこの事業の意義も如実に表れており、本人・親に対して直接、参加指導する機会の確保の重要性が認識されたため、今後も引き続き直接的な意識啓発を行っていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	31	事業名	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	誰もが自分らしく安心して暮らせるよう区地域包括ケア推進会議を中心として「地域包括ケアシステム※1」の深化・推進をめざす。				
課題	区内でも地域により状況が異なるため、地域包括ケアシステムの深化・推進にあたっては、地域課題を的確に把握し必要な取り組みを進める必要がある。				
事業内容	1 地域包括ケア推進会議等の開催(カッコ内は設置目的) 感染対策 (1) 区地域包括ケア推進会議(区の地域包括ケアシステム構築の推進母体) (2) 認知症専門部会(認知症の普及啓発、地域ネットワークの構築など) (3) 生活支援部会(生活支援ニーズの把握や情報の見える化など) (4) 孤立(虐待)防止ネットワーク部会(地域支援ネットワークの推進など) 2 地区診断※2等を受けての取り組み 感染対策 地区診断等により把握した地域課題に基づき、健康寿命を延ばすための地域の取り組みなどを検討する。				
計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立(虐待)防止ネットワーク部会の開催 各2回				

※1 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み。

※2 地区診断

地域包括ケアに関わる各機関が、把握している学区ごとのニーズ、社会資源等の情報や統計データ等に基づき、地域の課題等を分析し、共有するもの。

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆☆)

課題	区内でも地域により状況が異なるため、地域包括ケアシステムの深化・推進にあたっては、地域課題を的確に把握し必要な取り組みを進める必要がある。				
実施結果	1 地域包括ケア推進会議等の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生活支援部会の開催を1回中止し、認知症専門部会及び孤立(虐待)防止ネットワーク部会を1回ずつ書面開催とした。その他会議実施についてはオンラインによる開催、対面であれば席の間隔を広げて開催する等、感染対策を講じて開催した。 2 地区診断等を受けての取り組み 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域を訪問しての活動は最小限とし、介護予防の啓発として、自宅等で手軽に取り組める体操を案内したパンフレットを作成した。				
計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 4回 ・生活支援部会及び孤立(虐待)防止ネットワーク部会の開催 各2回				
実績	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 4回 ・生活支援部会の開催 1回 ・孤立(虐待)防止ネットワーク部会の開催 2回				
総括	資料配布や中止となる会議があり、双方向での意見交換が行えない状況が発生した。今後もオンラインでの開催等、コロナ禍にあっても双方向のやり取りができる方法で柔軟に対応する必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	32	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。				
課題	区民の方が認知症は身近な病気という認識をもち、認知症の人と家族の立場に立った考え方や行動へつなげられる取り組みを進める必要がある。				
事業内容	<p>1 認知症サポーター養成講座の開催 感染対策 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座を開催する。</p> <p>2 認知症セミナー・講演会の開催 感染対策 認知症に関する区民向けのセミナー及び講演会を開催する。(認知症セミナーは区医師会等と連携し実施)</p> <p>3 中川区認知症のしおりの普及啓発 認知症になったときにその進行に合わせて利用できる医療・介護サービス、地域の取り組みを紹介する「中川区認知症のしおり」の普及啓発に努める。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座受講者数(令和3年度末までの累計) 12,900人 認知症セミナー・講演会を実施 各1回 				

2. 令和2年度の実施結果 (進ちよく状況: ☆)

課題	認知症施策については、認知症当事者の立場に立った取り組みになっているかを常に意識して事業内容を検討する必要がある。				
実施結果	<p>1 認知症サポーター養成講座の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定例開催については人数を15人に制限して実施し、緊急事態宣言時下及び感染の急拡大が見られる時は開催を中止した。</p> <p>2 認知症セミナー・講演会の開催 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。</p> <p>3 中川区認知症のしおりの普及啓発 関係機関職員が中川区版認知症のしおりを使用し、認知症当事者、家族などへの説明を行っている。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座受講者数(令和2年度末までの累計) 13,100人 認知症セミナー・講演会を実施 各1回 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座受講者数 10,943人 認知症セミナー、講演会 0回 				
総括	対面を想定していた事業に中止、人数縮小等の影響が出た。臨時的に可能となっている認知症サポーター養成講座のオンライン実施等、様々な実施方法を検討し、認知症理解の向上を今後も進める必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	33	事業名	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	高齢者の生活支援ニーズを把握し、気軽に利用できるよう取り組みの充実を図り、高齢者を適切な関係機関につなげる仕組みづくりを進める。				
課題	専門機関のみでなく地域住民や地域団体と円滑に協働し取り組みを行う必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 生活支援ガイドブック（なかがわ人生の達人帖）の更新 区内で提供される多様な生活支援サービス・活動を自助・互助・公助の観点で整理したガイドブックについて、内容を更新し、普及啓発を図る。 セカンドステージセミナーの開催 感染対策 高齢者が地域活動の担い手としていきいきとしたセカンドステージを送る一助となるよう講演会を開催するとともに区内地域団体を紹介する。 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、事前予約制とした上で参加者を会場収容人数の半以下に制限するなどの対応をとり開催する。 高齢者サロン・共生型サロン[※]の実施を推進 感染対策 高齢者が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる高齢者サロン・共生型サロンを拡大・充実させる取り組みを推進する。 覚え書きカードの活用 民生委員、ケアマネージャー、かかりつけ医等の情報を記入することで、民生委員等の訪問時や緊急時に情報確認し、関係機関と連携した支援を図る。 数え100歳のお祝い 区内に居住する数え100歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金（市事業）及び保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。 				
計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和3年度末） 122箇所				

※高齢者サロン・共生型サロン

高齢者の方が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる場所。高齢者サロンは高齢者同士が、共生型サロンは子どもから高齢者までが一緒に交流でき、地域の「お茶の間」や「たまり場」として、元気な高齢者を始め地域住民等が自主的に運営している。

- 令和2年度の事業「高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援」及び「セカンドステージセミナーの開催」を統合。

2. 令和2年度の実施結果（高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援）
（進ちよく状況：☆☆☆）

課題	地域に根ざした生活支援・見守り支援の充実のために、専門機関のみでなく地域住民や地域団体との円滑な協働により取り組みを継続する必要がある。
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> 高齢者サロン・共生型サロンの実施を推進 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、サロン交流会は中止し、各サロンにコロナ禍での運営に関するアンケートを実施して活動の現状について情報共有を行った。 生活支援ガイドブック（なかがわ人生の達人帖）の更新 生活支援ガイドブックの時点修正を行うとともに、新型コロナウイルス感染症に対する情報とコロナ禍における生活支援情報を記載したパンフレットを追加作成した。 数え100歳のお祝い 数え100歳に達する高齢者へメッセージカードを贈呈した。

計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和2年度末） 120箇所
実績	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和2年度末） 121箇所
総括	サロンへのアンケートにより、コロナ禍であっても参加者とのつながりを保つために電話や訪問等に対応しているサロンがあることが分かった。また、開催における感染対策を気にする意見も多いことから、コロナ禍でも開催が可能なよう、対策を講じて事業を進める必要がある。

2. 令和2年度の実施結果（セカンドステージセミナーの開催）

（進捗状況：—）

課題	これまで地域活動への関わりが薄かった方により多く参加していただき、今後の地域活動に繋がるように、企画内容、案内方法等を検討する必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	セカンドステージセミナーの開催 1回
実績	セカンドステージセミナーの開催 0回
総括	コロナ禍でも開催が可能なよう、対策を講じて事業を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	34	事業名	障害者の地域生活支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	区障害者自立支援連絡協議会*との連携などを通じて、障害者の地域生活支援の充実に努める。				
課題	ニーズが多様化する中で、障害者の地域生活支援の充実に継続的に努める必要がある。				
事業内容	<p>1 区障害者自立支援連絡協議会との連携 感染対策 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会などを開催し、支援者間の連携・スキルアップをめざす。</p> <p>2 中川区災害時要配慮者(障害者)支援ガイドブック(私の防災ノート)の普及啓発等 感染対策 障害者やその支援者が災害に対する備えを十分にすることができるよう、「事前に備えておくこと」や「災害発生時の避難行動」、「指定避難所の設備状況や避難所生活の留意点」などをまとめたガイドブックについて、講座の開催などを通じた普及啓発や新型コロナウイルス感染症を踏まえた発災時の対応に係る検討などを行う。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 1回以上 私の防災ノートに係る講座などの実施 1回以上 				

*障害者自立支援連絡協議会

障害のある方が安心して暮らせる地域をつくるため、障害者団体・障害福祉サービス事業者・行政などが障害福祉に関する地域での連携や支援の体制などを話し合う会議。

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況:☆☆☆)

課題	中川区は障害者手帳の所持者数が市内で最も多く、ニーズも多様化する中で、障害者の地域生活支援の充実に継続的に努める必要がある。
実施結果	<p>1 区障害者自立支援連絡協議会との連携 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などを開催した。</p> <p>2 中川区災害時要配慮者(障害者)支援ガイドブック(私の防災ノート)の普及啓発 ケアマネサロンで私の防災ノートの普及啓発を行った。</p>
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの開催 1回以上 私の防災ノートに係る講座などの開催 1回以上
実績	<ul style="list-style-type: none"> 区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの開催 9回 私の防災ノートに係る講座などの開催 1回
総括	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、私の防災ノートに係る講座は中止としたが、ケアマネサロンで私の防災ノートの普及啓発を行った。また、区障害者自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などは、計画目標を上回って開催した。こうしたことを通じて、障害者の地域生活支援の充実に努めることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況等に応じて、事業実施方法の変更等の対策を検討する必要がある。</p>

1. 令和3年度事業内容等

No.	35	事業名	障害の理解の促進	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣旨	障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するために、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進に努める。				
課題	障害者差別の解消に向けて、障害の理解の促進に継続的に努める必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームメッセージ事業の実施 感染対策 障害者やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて、障害に関する出前講座を実施する。 2 障害者スポーツの体験等 感染対策 障害について身近に感じられるよう、区民まつりに障害者スポーツの体験などができるブースを出展する。 3 授産製品販売の促進 感染対策 障害に対する理解を深め、障害者の就労支援にもつながるよう、区役所・支所での授産製品販売を促進する。 				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメッセージ事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 ・授産製品販売の実施 月あたり22回以上 				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課題	中川区は障害者手帳の所持者数が市内で最も多く、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するためには、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進に努める必要がある。				
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームメッセージ事業の実施 障害者やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて、障害に関する出前講座を実施した。 2 区民まつりへの出展 コロナ禍で、区民まつりが中止となった。 3 授産製品販売の促進 障害に対する理解を深め、障害者の就労支援にもつながるよう、区役所・支所での授産製品販売を132回実施した。 				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメッセージ事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 ・授産製品販売の実施 月あたり23回以上 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメッセージ事業の実施 6回 ・授産製品販売の実施 月あたり11回 				
総括	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、区民まつりが中止となり、授産製品販売については、4月1日から6月12日まで販売を中止するとともに、販売の回数を減らす事業所や販売を見合わせる事業所があった。一方、チームメッセージ事業については計画目標を達成したため、障害の理解の促進を図ることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況等に応じて、事業実施方法の変更等の対策を検討する必要がある。</p>				

1. 令和3年度事業内容等

No.	36	事業名	区民の健康づくりの推進	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	—		
趣 旨	<p>がんは早期発見により早期治療が可能のため、全年齢に対してがん検診の必要性を普及啓発していく。特に乳がんは自己触診で発見できるため、講座を開催し知識の普及を行う。</p> <p>あわせて、健康で豊かな生活のため、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し生活習慣病の予防につなげる。</p>				
課 題	<p>区民が生涯にわたって健康を維持できるように、中・高齢層にとどまらず若年層にも早期のがん予防や生活習慣病の予防の必要性を訴える必要がある。</p>				
事業内容	<p>1 がん検診の普及啓発 感染対策 子育て中の母親や高齢者の集まる場所において、がん検診の案内・説明を行う。</p> <p>2 乳がん講座の実施 感染対策 主に乳幼児を子育て中の母親を対象に、乳がんの基本知識の講話、乳がんモデルを活用した体験による乳がん自己触診法の説明を行う。</p> <p>3 健康相談の実施 感染対策 区民まつりや地域サロンにおいて、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し、生活習慣病の予防につながるよう支援する。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談を実施 				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆)

課 題	<p>区民が生涯にわたって健康を維持できるように、中・高齢層にとどまらず若年層にも早期のがん予防や生活習慣病の予防の必要性を訴える必要がある。</p>				
実施結果	<p>1 がん検診の普及啓発 新型コロナウイルスの影響で、がん検診の実施の可否が不明であったため、チラシの配布ができなかった。</p> <p>2 乳がん講座の実施 地域の子育てサロンにおいて、乳がん自己触診法普及事業を1回実施した。</p> <p>3 健康相談の実施 コロナ禍で区民まつりが中止となったが、地域サロンを16回実施した。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談を実施 				
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん講座の開催 1回 ・区民まつりで健康相談を実施 0回（代替あり） 				
総 括	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業は中止となった。今後は感染対策をとりつつ、実施を目指していく必要がある。</p>				